

あとがき

父は、平成二十六年四月二十四日に、帰らぬ人となり、翌日の二十五日の通夜と二十六日の葬儀の際は、弟の篠笛を皆様方に聴いて頂きました。この理由は、最期の随想となった「別れの篠笛」にあるとおりであります。

篠笛を一緒に聴いて頂いた方々、また父が生前お世話になった皆様方に厚く御礼申し上げます。この小冊子が、皆様方の思い出を呼び起こす一つの切っ掛けになれば、幸いです。

平成二十六年七月 長男 木寺 佐和記



著者略歴

木寺 諭吉(きでら ゆきち)

- 大正 10 年 7 月 17 日、長崎県北松浦郡福島町に生まれる
- 昭和 3 年 4 月 3 日、長崎県北松浦郡福島尋常高等小学校(尋常科)入学
- 昭和 9 年 4 月 1 日、福島尋常高等小学校(高等科)入学
- 昭和 11 年 4 月 7 日、佐世保市立商業学校入学
- 昭和 14 年 3 月 20 日、佐世保市立商業学校第参学年終了
- 昭和 15 年 5 月 6 日、沖之山工業株式会社用度課勤務
- 昭和 16 年 9 月 17 日、佐世保海軍工廠総務部勤務
- 昭和 17 年 5 月 1 日、召集により陸軍に入隊(在籍のまま)
- 昭和 20 年 9 月 21 日、召集解除復帰
- 昭和 20 年 12 月 1 日、佐世保地方復員局管業部勤務
- 昭和 22 年 11 月 1 日、佐世保船舶工業株式会社勤務
- 昭和 23 年 6 月 10 日、長崎県北松浦郡福島村立福島小学校勤務(地方事務官)
- 昭和 24 年 9 月 22 日、小川良子と結婚

昭和25年7月、長男、佐和記 誕生

昭和27年5月、次男、知記 誕生

昭和31年8月、三男、昌記 誕生

昭和52年4月1日、田平中学校勤務

昭和55年4月1日、福島小学校勤務

昭和57年3月31日、退職、以後、福島町で生活、この間、本冊子の元となった「文教いろは」に投稿等

平成26年4月24日、病没

九十三歳の詩^{うた}

平成二十六年 八月発行

著者

木寺 諭吉

発行者

木寺 諭吉

〒 848-0462

長崎県松浦市福島町
端免67ノ1

編集・発行協力

木寺 佐和記・ゆみ

印刷・製本

(株) 渡辺青写真

九十三歳の詩^{うた}